

市場から世界をみれば

ISG 情報システム株式会社 大谷 淳一



アイコン」の種だけが全生産額の90パーセントを占めている。

で「緑の革命」(穀物の大量増産の達成)は、人類に貢献していると言っ

93年に起きた東北地方の冷害は、単一品種の偏りによる栽培の危険性を十分に知らしめた出来事でもあった。この年は、イネなどの穀類から野菜に至るまで冷害の影響を受け、海外のコメを緊急輸入するまでの状態となった。

第11回「シード・ハンター」下

現在日本で栽培されているイネ品種は、その大部分が「コシヒカリ」とその親戚で占められている。つまり日本のイネに

関しては、遺伝子的な多様性は失われており、アイルランドの「ジャガイモ飢饉」のような危険をはらんでいるとも言えるだろう。

単一品種の大量栽培は、20世紀に入ってから

野菜でも同様のことが起きています。その代表はダイコンである。かつてはさまざまな品種があっ

たが、現在では「青首」とは間違いがない。この

卸売業者向けのコンサル

「資源」の勝手な持ち出しの禁止や、「資源」を人々

【略歴】1957年北海道美唄市生まれ。85年、食品管理、生鮮管理のシステムを開発する情報システムを創業。荷受卸売業者や食品製造会社、仲